

## 本庁舎建て替えワークショップについて

## 1. 開催概要

本庁舎の建て替えに対する市民の関心を高めることと、市民の意見を有益に反映させることとの両立を目的として、平成30年3月3日（土）に本庁舎建て替えワークショップを開催した。概要は下記のとおり。

- 日 時 平成30年3月3日（土）13時から （希望者のみ11時30分から本庁舎内を見学）
- 場 所 TKPガーデンシティ仙台勾当台ホール5 （仙台市青葉区国分町3丁目6番1号 仙台パークビル）
- テー マ ① 15年後、市民に愛される市庁舎では、どんな情景が繰り広げられているか？  
② 新市庁舎に必要なコンセプト・機能は？
- 参加者 男性19名 女性14名 計33名  
（防災、市民活動、町内会、経済界、障害者、外国人など各分野の団体から参加者を募集）
- 出演者 ファシリテーター： 中西 百合 氏（（特非）日本ファシリテーション協会理事）  
専 門 家： 小野田 泰明 氏（東北大学大学院工学研究科教授）

郡市長あいさつの後、小野田氏より他都市事例紹介等の基調プレゼンテーションを行った。  
庁舎管理課からの本庁舎の現状と課題の説明を挟みながら、中西氏の進行のもと7グループに分かれてテーブルトークを実施し、各グループのアイデア等を模造紙に書き込んだ。  
最後に各グループの代表者から発表を行い、小野田氏と庁舎管理課からの講評を行った。



## 2. 寄せられたご意見

ワークショップにおいて寄せられたご意見は、大別して、立地や整備方針に関する内容と、コンセプトや機能に関する内容とに分かれている。ご意見の要旨は下記のとおり。

## (1) 新庁舎の立地や整備方針に関する内容

- 市民広場の延長に市役所があるような、市民広場が庁舎の側にぐっと入ってくるイメージ
- 一番町アーケード・定禅寺通・市民広場の境目がない
- 地下道や通路で、定禅寺通・市役所・区役所・地下鉄を繋ぐ（地下にも人が集まることのできる仕組みを）
- 市民広場のベデストリアンデッキ化と、新庁舎への接続
- 市立病院のような広いスペースの確保 ○芝生広場の併設
- 多くの人が集う場とするための、青葉区役所との複合化や商業施設等の併設

## (2) コンセプトや機能に関する内容

## ①コンセプト関連

## 【共通理念（市民を中心とし、時間軸や状況を考慮したもの）】

- 市民一人ひとりが参画して新庁舎をつくっていくプロセスが重要
- 若者が集まる場所、15年後にその時代の学生が利用できる場所
- 若者からお年寄りまであらゆる世代が集まり、立ち寄り、第三の場所 ※ 等

## 【災害対策・危機管理】

- 災害時に頼ることができる、防災（災害対策）の拠点
- 災害に強いまち・市の、災害時の司令塔としての役割と、防災・減災の情報を発信する役割 等

## 【まちづくり（賑わい・協働）】

- 誰からも愛される場所、地域を感じる場所
- 子どもたちが仙台を学び、仙台を育てていく場所
- 市民、市、NPO等、様々な立場の人々が対話し、交流や相互理解、コミュニケーション、チャレンジ等が進む場所（対話のできる市庁舎） 等

## 【利便性・環境配慮】

- 障害のある方以外にも、高齢者や子ども、外国人、LGBT等の様々な方の声を聞き、多様な利便性に配慮（手すり、スロープ、点字ブロック、案内サイン、電光掲示板、手話、通訳、コミュニケーションボード、等） 等
- 森に囲まれた、周辺の環境と調和する庁舎

## 【持続性（経済性・生産性・柔軟性）】

- （心理的にも物理的にも）壁のない・少ない庁舎
- 職員も快適に過ごせる、新しいアイデアが生まれやすいクリエイティブな場所 等

## ②機能関連

## 【行政機能】

- 隣の課の様子が伝わるような、（市長室の下層階配置等も含めた）風通しの良い空間
- 市民の考えを理解し、市民が相談しやすい、高いアンテナや多彩な人脈を持った職員を育成する工夫
- 学生の臨床の場にもなる、職員のヘルスキーパーとしてのマッサージ・整体等
- 市民活動を支援したり、市民やNPO、民間事業者等とスムーズなやりとりができたり、といった、可視的・開放的・多目的な協働スペース  
（今後の市の業務は、多様な主体と連携しながら行うものが増加すると思われる） 等

## 【議会機能】

- 議論の場の可視化等、オープンな議会

## 【災害対策機能】

- 屋上ヘリポートや蓄電池（太陽光発電）、洪水対策としての地下タンク等の設置
- 平常時は他用途に転用できる、多目的な避難スペース ○地下の活用（シェルター代わり、備品収納等） 等

## 【市民利用・情報発信機能】

- 市民が自由に使えるスペースの確保 ○3.11のメモリアルスペースの設置
- イベントスペースの設置 ○広く、多目的とした1階ロビーの土日開放
- ゆったりできるカフェや地元食材レストランの設置 ○手続きの間のペットの預かりサービス
- 四ツ谷用水から続く噴水やインスタ映え等、市民が親しみを持てる工夫
- 仙台から東北全体へ情報を発信（名産品販売等） ○仙台に関する情報が集まる（他の機関や情報を繋ぐ）
- Wi-Fi等通信環境の充実 ○様々な立場の人に情報を伝える工夫
- VRやAR等を活用した、市の様々な情報や市役所での手続きの待ち時間等が分かる市役所アプリの開発 等

## ※ 第三の場所（サードプレイス）

人の居場所として、第一が自宅、第二が職場であるという前提の下、自宅や職場以外で、人が心地良いと感じ足を運ぶ場所のこと。例として、フランスやイタリア社会におけるカフェ等が挙げられる。